



遠藤周作文学館 第52回文学講座

遠藤周作の文学—長崎を舞台とした作品から—

【講座要旨】

遠藤周作の文学、その初期は〈西洋と日本〉というテーマを軸にした作品が中心でした。そして、長期入院を機に本格化していくのが、キリシタン物と括られる諸作品となります。さらにこの展開で重要な意味を持ってくるのが、〈母なるもの〉という表現です。長崎を舞台に作品を描き続けるなかで、この〈母なるもの〉を遠藤はどう捉え、作品化していったのか、そうした視点から遠藤文学を読み解きます。

[日 時] 2026年1月24日(土) 13:00～15:00

[場 所] 遠藤周作文学館 思索空間アンシャンテ

[定 員] 40名(先着順)

[参加料] 無料

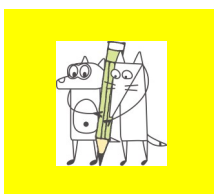
[講 師] しもの たかふみ
下野 孝文 氏(長崎県立大学名誉教授)

[申 込] FAXに氏名(ふりがな)、電話番号、申込人数を明記の上、
文学館まで。電話でも可。

FAXはこの用紙でもお申込みできます。

申込期間は 12月1日(月)から1月22日(木) まで。

<u>イベント名</u> 第52回文学講座	<u>氏名(ふりがな)</u>
<u>申込人数</u>	<u>ご連絡先(電話番号)</u>



〒851-2327 長崎市東出津町77
長崎市遠藤周作文学館
TEL: 0959-37-6011/FAX: 0959-25-1443